

学校教育目標	「自主・自律」			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな学力と学ぶ意欲をもって、主体的に考える子どもを育てます。(知)</li> <li>・自他をみとめ、思いやりと規範意識をもって行動をする子どもを育てます。(徳)</li> <li>・健やかな体を育み、安心・安全を尊重する子どもを育てます。(体)</li> <li>・地域の中で自分を活かし、社会貢献できる子どもを育てます。(公・開)</li> </ul>			
学校概要	創立 43 周年	学校長 我妻 智之	副校長 白井 大介	2 学期制 一般学級：16 個別支援学級：4
	児童生徒数：599 人	主な関係校：あざみ野第一小学校、あざみ野第二小学校、黒須田小学校、荇子田小学校		

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	あざみ野中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
課題発見・解決能力 言語活動・コミュニケーション能力 自分づくりに関する能力	あざみ野中学校 あざみ野第一小 あざみ野第二小 黒須田小 荇子田小 (すすき野中) (嶮山小)	自分らしく、共に生き、未来を切り拓く子  小中学校間で学習指導や生徒指導の円滑な接続を重視するとともに、児童・生徒間の交流や教職員の交流を積極的に図ることによって子どもたちに必要な資質・能力を育て「9年間で育てる子ども像」の具現化を目指す。具体的には小中授業研究会、小学生の中学校授業参観・部活動見学・生徒会オリエンテーション等を行う。

中期取組目標	<p>○「チームあざみ野」として全職員で「共有」「共感」「協働」を合言葉に「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒を理解し、認め、励まし、一人ひとりを伸ばす教育を行います。</li> <li>・主体的・対話的で深い学びに通じる指導を充実するとともに、「分かる授業」「魅力ある授業」を実践します。</li> <li>・自己肯定感を高め、お互いに認め合う人間関係、思いやりのある心を育てます。</li> <li>・地域とのコミュニケーションを通して、信頼関係を深めていきます。</li> </ul>
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

重点取組分野	具体的取組
知 学習指導 (授業改善)	①指導主事を招請して指導と評価の一体化育成を目指した研修を行い、育成を目指す資質・能力を明確にした校内授業研を実施し、子どもが主体的に学習に取り組む授業を目指す。
担当 教務部・学習指導部	
徳 道徳・人権教育	①人権意識を高めるために職員研修を行い「誰もが安心して豊かに生活できる学校」を目指す。 ②道徳教育を学校教育全体で充実させ、生徒一人ひとりの個性を認め合える学校づくりを目指す。
担当 学習指導部道徳・人権係	
体 健康・安全教育	①誰もが楽しみながら運動に参加できるよう保健体育科の授業改善を図るとともに、体育的行事や集会を生徒が主体になって運営できるようにする。 ②主体的に健康で安全な生活を実践することができるよう、計画的に健康・安全教育を実施する。
担当 保健安全指導部・食育推進委員会	
公開 自分づくり教育 (キャリア教育)	①1年「職業講話」2年「職業体験」3年「進路学習」を中心に、自らの生き方を見つめ、より良く生きるためのキャリア教育を推進する。 ②歴史を学び、未来に向けて生徒一人ひとりが課題を設定して学びを進める「平和学習」を実践する。
担当 学習指導部総合係	
いじめへの対応	①全職員のいじめに対する感度を高くするとともに、生徒指導部と連携した教育相談や毎月の生活アンケートにより細かな変化を見逃さない体制をつくる。 ②月1回以上いじめ防止対策委員会を開催し、認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで再発防止に努める。また生徒の心情に寄り添って、積極的にいじめを認知する。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)	①積極的に外部より講師を招聘し、生徒に寄り添える特別支援の視点をもった校内研修を実施しながら教員一人ひとりの対応力を向上させる。 ②メンター研修を行うことで、経験の浅い教職員の育成を図るとともに、中堅教職員の企画運営能力を高める。 ③働き方改革の視点から、業務の精選を図り、生徒や教職員にとって有意義な教育活動を展開できるように研修を深める。
担当 学年連絡会・企画会	
特別支援教育	①特別支援委員会の定期開催を通して、支援の必要な生徒の思いに寄り添い、その実態把握に務める。 ②学校全体で不登校支援のための校内ハートフルルーム運営に携わり、ICT機器を活用して支援の充実を図る。 ③多様性を認め合う風土の醸成を目指し、教職員の研修を進め、生徒理解に必要な資質を向上させる。
担当 特別支援委員会	
生徒指導	①長期休業明けに教育相談日を設けたり、日頃から生徒の様子に気を配り、必要に応じて声掛けをするなど生徒一人ひとりの思いに寄り添った生徒指導に組織的に取り組む。 ②生徒指導研修会を複数回実施し、週1回以上、生徒指導担当教諭で集まり、職員間の共通理解を一層深く図る。また、Y-Pアセスメントを活用して支援検討会を行い、組織的な対応を行う。
担当 生徒指導部・生徒指導専任	
地域協働活動	①学校家庭地域連携協議会を定期的に設け、学校の活動の情宣と地域との連携を図る。 ②学校運営協議会の運営に関わり、あざみ野中学区の地域との連携・協働を図る。 ③地域防災拠点として、生徒への防災教育や地域と主体的にかかわる人物の育成に取り組む。
担当 教務部・生徒指導専任	
担当	